

■□■2017年度 北海道大学大学院経済学研究科 社会経済学研究会 ■□■

【時間】16:00～

【会場】W406 教室

※ 報告時間は、一人120分（報告30分、コメント及びコメントへの返答30分、その他の質疑応答60分）。

No.	日時	報告者・論題	コメンテーター
1	4/20	佐々木憲介 J.S.ミル『論理学体系』第6篇「解説」	海大汎
2	5/18	ジョ・アラ 日本におけるユートピア共同体の現状と展望—武者小路実篤の「新しき村」を中心にして—	金仁子
3	6/23	藤村哲史 シーニアとマルサスの神学思想が人口の原理におよぼす見解の相違について	ジョ・アラ
4	7/20	海大汎 信用貨幣の生成原理—価値形態論の再構築—	小林佑太
5	9/21	マリア・パガネリ Adam Smith, Anti-Stoic	ジェ・ハリス
6	10/12	小林佑太 然るべき因果という難問—適合的因果理論の意義と課題—	小田和正
7	11/16	小田和正 社会学理論としての時代診断学：K・マンハイムの評価的イデオロギー概念の検討から	佐々木憲介
		岡部洋實 不況回復の契機：原理論における「不況」の位置付けをめぐって	小林佑太
8	12/14	吉井哲（名古屋商科大学） もしもロビンソン・クルーソーが故郷に帰らなかったら？—経済学から見る国の発展と貿易—	尤歆惟
9	2018/1/18	金仁子 福祉レジームとジェンダーエクイティ	小林大州介
		尤歆惟 ヘーゲル市民社会論における労働思想とマルクスの感性労働論	藤村哲史
10	2018/2/16	小林大州介 J.A.シュンペーターの『経済発展の理論』	小田和正